

平成26年度森林鳥獣被害対策技術  
高度化実証事業（関東・中部）報告書

平成27年3月

林野庁



## 目次

第1章 業務概要 .....	1
1. 目的 .....	1
2. 業務の進め方 .....	2
第2章 奥日光地域 .....	5
1. モデル地域の現状把握.....	5
2. シカ対策の目標設定.....	11
3. 実証内容 .....	12
3-1. 捕獲（モバイルカリング） .....	12
3-2. 自動撮影カメラ（モバイルカリングの影響評価） .....	23
3-3. パッチディフェンス.....	26
4. 実証内容のまとめ.....	34
5. 課題 .....	34
第3章 黒河内地域 .....	36
1. モデル地域の現状把握.....	36
2. シカ対策の目標設定.....	41
3. 実証内容 .....	44
3-1. ライトセンサス調査.....	44
3-2. 自動撮影カメラを用いた林分ごとの生息状況調査.....	48
3-3. 植生影響調査.....	51
3-4. 誘引試験.....	56
4. 実証内容のまとめ.....	63
5. 課題と効果的な対策に向けて.....	63
第4章 現地検討会の開催.....	65
1. 奥日光地域 .....	65
1-1. 実施概要.....	65
1-2. 指摘事項.....	65
2. 黒河内地域 .....	66
2-1. 実施概要.....	66
2-2. 指摘事項.....	67
第5章 成果報告会の開催.....	68
1. 実施概要 .....	68
2. 発表要旨 .....	70

2-1.	北海道森林管理局 奥只見国有林における取り組み.....	70
2-2.	東北森林管理局 末崎山国有林における取り組み.....	71
2-3.	関東森林管理局 奥日光国有林における取り組み.....	72
2-4.	中部森林管理局 黒河内国有林における取り組み.....	73
2-5.	近畿中国森林管理局 大杉谷国有林における取り組み.....	74
2-6.	四国森林管理局 三嶺地区における取り組み.....	76
2-7.	九州森林管理局 祖母山地区・佐伯地区における取り組み.....	78
3.	パネリストから出た主な意見.....	79
第6章	参考資料.....	81
1.	奥日光の概況.....	81
1-1.	地形・地質等.....	81
1-2.	森林概況等.....	85
1-3.	法的規制.....	95
1-4.	施業.....	100
1-5.	被害状況.....	101
2.	黒河内の概況.....	102
2-1.	地形・地質や森林等の概況把握.....	102
2-2.	森林概況等.....	106
2-3.	法的規制.....	113
3.	奥日光の植生調査結果.....	115
3-1.	既往保護林調査箇所の経年変化.....	115
3-2.	毎木調査、植生調査結果.....	128
4.	黒河内の植生.....	204
4-1.	小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林の状況.....	204
4-2.	植生、毎木調査結果.....	208

## 第1章 業務概要

### 1. 目的

近年、分布域を広げているシカ等野生鳥獣による被害が深刻化しており、森林においては、造林地の食害のみならず、樹木の剥皮による天然林の劣化や下層植生の食害、踏みつけによる土壌の流出など、国土の保全、水源かん養等森林が持つ公益的機能の低下や森林における生態系に大きな影響を与えている。

このような中で、シカ等野生鳥獣は広大な森林を自由に往来すること、森林は傾斜などの地形条件、積雪などの気象条件等が多様であること、狩猟者の高齢化及び狩猟者数の減少という現状を踏まえつつ、爆発的な繁殖力を有するシカ等野生鳥獣による被害に対し、効率的・効果的な対策を推進する必要がある。

このため、国有林野内にモデル地域を設定し、地域の農林業関係者等と連携を図りながら、森林生態系の保全と農林業被害の軽減を目的に、シャープシューティング等様々な新技術等を組み合わせた新たな対策の実証を行った。

## 2. 業務の進め方

シカ対策の流れとしては、まずはシカの生息状況とそれに伴う植生影響について把握をすることが必要である（図 1-1）。その現状をもとに、どこで優先的に対策をすべきであるのかの検討を行う。この流れがないと闇雲な対策となり、効果的・効率的な対策には結びつかない。また、全体のフレームワークとしては、図 1-1 の考えに基づいて現状把握を行い、合わせて、その地域の森林の管理経営計画の目標が達成できるような、シカ密度まで削減する必要がある（図 1-2）。このことから、シカの状況と管理経営計画を踏まえて、シカ対策の方針決定がなされるべきである。本事業に関しては図 1-3 に示す流れで事業を行った。

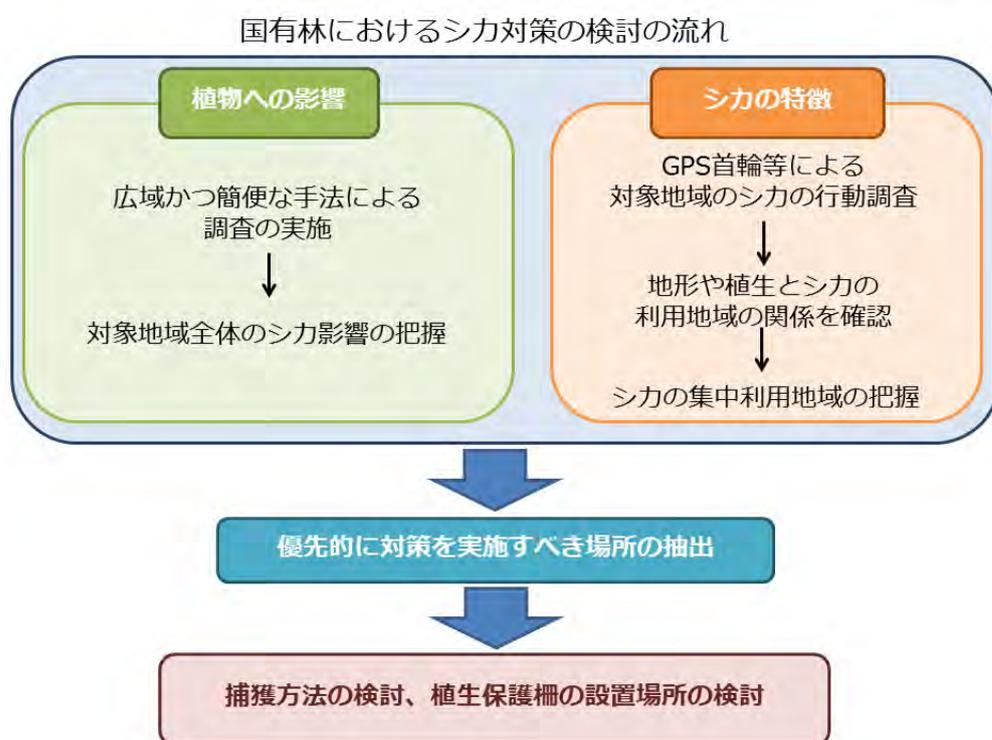


図 1-1 シカ対策の流れ

## 高度化実証事業のフレームワーク

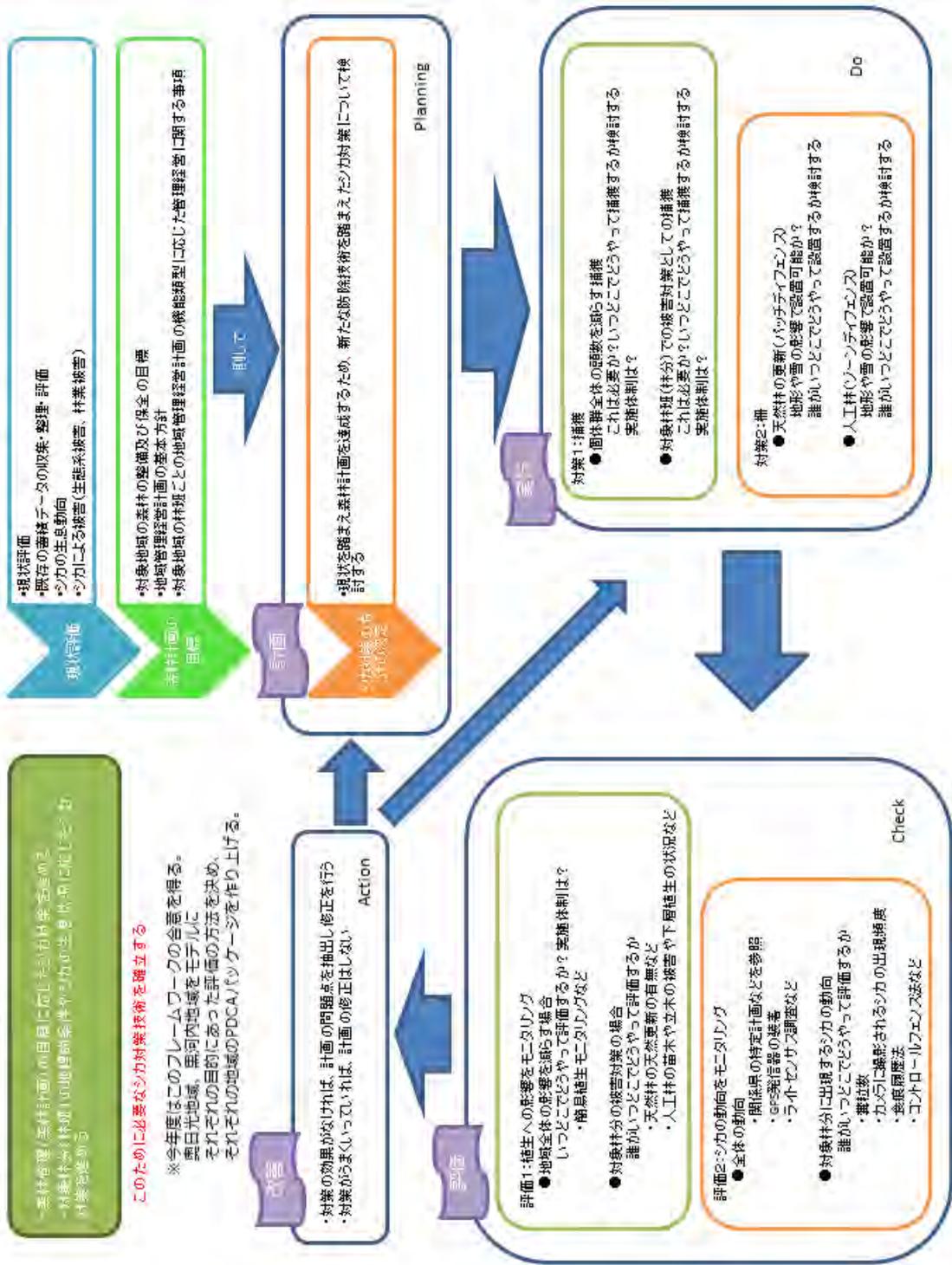


図 1-2 高度化実証事業のフレームワーク

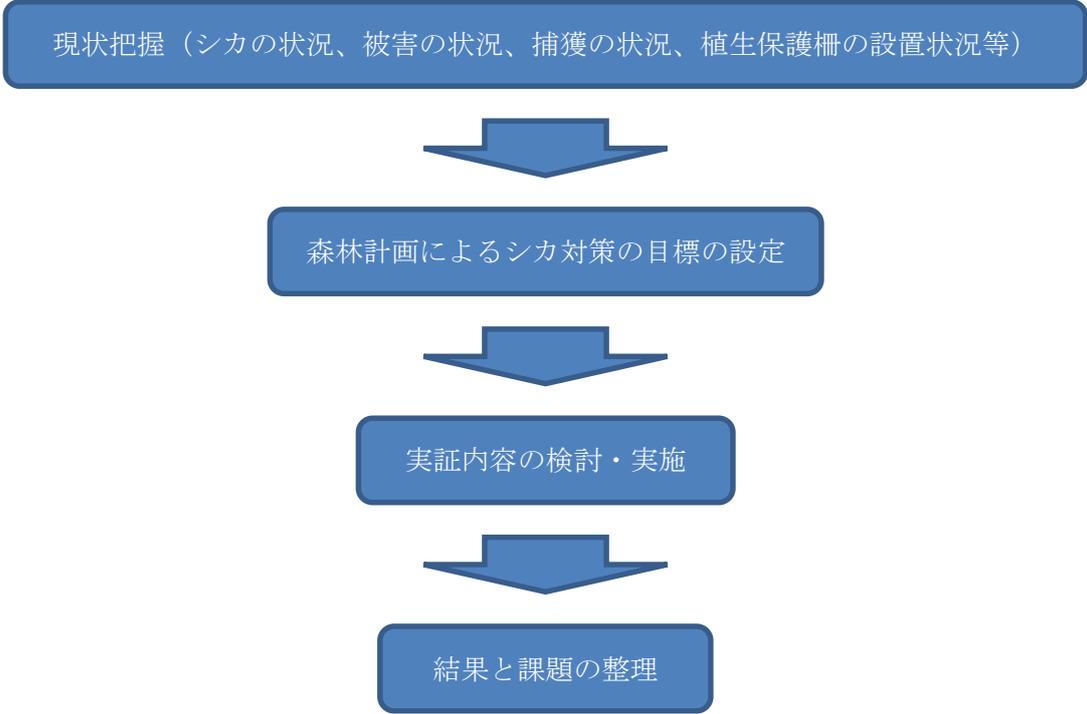


図 1-3 今年度業務の進め方